

みんな、「緑のカーテン」って知ってる？ どんなものか、さっそく調べてみたよ。



今、地球温暖化対策のひとつとして「緑のカーテン」が注目され、実際にとりつける学校や会社、役所が増えているんだ。緑のカーテンは、アサガオやヘチマみたいに、何かに巻きつきながら成長していくつる植物を、窓の外側に張ったネットにはわせて作る生きたカーテンなんだ。植物は、土に蓄えられている水を根から吸い上げ、茎そして葉へと行きわたらせて生きている。さらに、葉っぱに含まれている水は水蒸気になって空気中に放出されるんだけど、このとき周りの熱も吸収してくれるから、植物の周りの気温も低くなるってわけ。つまり、緑のカーテンは、エネルギーを使わない、地球に優しい天然のエアコンなんだ。

山梨県内でも、いくつかの学校で設置されているよ。キミの学校はどうか？夏休みが始まる前に、甲府市にある中道北小学校を訪ねてみました。

column

全校生徒みんまで、 省エネ活動中

山梨市立笛川中学校

山梨市立笛川中学校では、「電気消し隊」「水を大事にし隊」を結成し、全校生徒みんなで節電、節水に取り組んでいます。この地球温暖化防止に向けた取り組みが全国で認められ、平成19年12月には、「地球温暖化防止活動環境教育・普及啓発部門」で環境大臣賞受賞。平成20年1月には、「キッズISO14000プログラム FOR SCHOOL」の認定を全国の小・中学校で初めて受けました。生徒たちは、「環境のことを大事にしたい心」をいつも持ち続け活動しています。

「涼しくて楽しい、緑のカーテン。毎日水をあげて、大切に育てています。」

「5月の終わり頃、2階の3年生の教室のベランダに4つのプランターを置き、1つのプランターに2本ずつ、計8本のゴーヤーの苗を植えました。朝と放課後の1日2回、水やりを毎日、大切に育ててきました。おかげでゴーヤーはすくすく成長し、7月中旬には3年生の教室の窓の半分くらいまで覆っていました。夏休みが終わる頃には真上にある6年生の教室まで伸びて、厳しい残暑の中でも子どもたちが涼しく快適な教室で勉強することができていますね。」



「緑のカーテン」
大きくな～れ!

「教室の外に緑のカーテンがあると、涼しい気持ちがいよいよ。朝の水やりも楽しいよ」「黄色い花がいっぱい咲いて、大きなゴーヤーもできたの。この前はね、テントウムシを捕まえてきてアブラムシを食べてもらってたよ。」「と、ゴーヤーのある学校生活がとっても楽しいみたいです。」

一方、ゴーヤーの成長を心待ちにしているのが6年生。放課後には5人の環境係が中心となり、毎日、水やりをしているんだって。地球温暖化についても勉強して、「買い物に行くときにはマイバッグを持って行ったり、電気をこまめに消したりしています」とのこと。さすが6年生!

今年は、2階の3年生の教室とその真上の6年生の教室だけに設置したけれど、来年の夏はもっとたくさん先生の教室で、緑のカーテンが作れるといいですね。

【地球温暖化対策についての問い合わせ先】 森林環境部環境創造課 ☎055-223-1502

キッズ ニュース

「地球温暖化」を 防止するため...



すくすく育つ「緑のカーテン」(甲府市立中道北小学校)

みんなと一緒に考えてみよう!

今年の7月、北海道の洞爺湖で、主要8ヶ国の代表者が集まって開かれたサミットで、「地球温暖化をどう防ぐか」ということがもっとも大きなテーマとして話し合われました。その結果、地球温暖化を防ぐために世界全体で2050年までに二酸化炭素などの排出量を今の半分に減らそうと決めました。

山梨県も、今年度、二酸化炭素などの排出量を少なくするために「地球温暖化対策条例」や、「地球温暖化対策計画」をつくります。これには、地球温暖化を防ぐために、みんなで取り組むことが決められる予定です。



「電気消し隊」活動中!(山梨市立笛川中学校)

「地球温暖化」ってなんだろう?

私たちの住む地球は、太陽の光によって、まず地面が温められ、地面から出される熱の一部を二酸化炭素などの温室効果ガスが宇宙に逃がさずにとじこめることで、大気が温められています。この温室効果のため、冷たい宇宙空間の中でも地球の平均気温は、私たち生物が暮らしやすい約15℃に保たれています。

しかし、自動車や発電所などでたくさん燃料を使うことなどにより、二酸化炭素などの温室効果ガスが増え、熱が宇宙へ逃げにくくなり、地球の気温が上がっているのです。これが「地球温暖化」です。

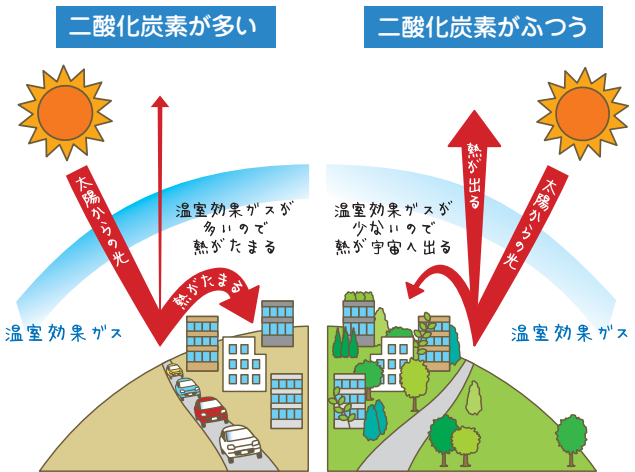
地球温暖化が進むと、南極の氷などが溶けて海面が上がったり、異常気象になって大雨が降ったり乾燥したりと、世界中で大きな被害がでることになります。

また、私たちの住んでいる山梨県は、ブドウやモモなどたくさん果物が実る「果樹王国やまなし」として全国で有名ですが、気温の上昇により、果物への影響も心配されます。

「地球温暖化を防ぐための「条例」をつくりまします!

県内の家庭から出る二酸化炭素の量は1990年から2005年の間に、約43%増えています。

これは、各家庭で使うエアコンやテレビなど家電製品の電力消費量が増えていることが大きな原因となっています。地球温暖化を防ぐために、私たちの暮らしの中で、二酸化炭素が多い



化炭素の排出量を減らしていくことが必要となります。

そこで県では、「地球温暖化対策条例」を今年中につくりまします。「条例」とは、皆さん一人一人に守ってもらえるルールのことです。この条例では、「県民の皆さんに仕事や日常生活の中で二酸化炭素などの排出量を減らす工夫をしてください。」といったことが決められる予定です。

また今年度中に「環境チェックシート」を作成し、県内の各家庭に配布予定です。地球温暖化防止のために家庭でできることを、このチェックシートを使いながら取り組んでいきましょう。

未来にきれいな地球を残していくためにも、私たち自身が地球温暖化を防止しようと思おう気持ちが大切です。

第10回 「ライトダウン甲府バレー ～星つむぎの歌が聴こえる」 10月25日(土) 午後8時～9時

7月7日洞爺湖サミットの初日、全国で「七タライトダウン」が行われました。東京タワーも電気を消して、地球温暖化防止のためのライトダウンに参加していましたね。

ここ山梨県では、1999年から毎年「ライトダウン甲府バレー」が行われています。最近では、街の灯りが明るすぎて夜空の星は少ししか見えません。必要のない電気を消して、この街の空に天の川を取り戻そうというのが、ライトダウン甲府バレーのねらいです。

10回目を迎えた今年は、「ライトダウン甲府バレー ～星つむぎの歌が聴こえる」をテーマに行われます。10月25日午後8時。電気を消して、皆さんも夜空を見上げながら「星つむぎの歌」を歌ってくださいね。必要のない電気を消すことによって、夜空には輝く星が見え、そして二酸化炭素の排出量を少なくできる。まさに、一石二鳥ですね。

問い合わせ先

ライトダウン甲府バレー実行委員会
☎055-254-8159 (県立科学館内)
<http://www.lightdown-kofu.org/>

